

超電導技術開発における 日本式オープンイノベーションとASCOT

概要

新型コンソーシアムによる超電導のオープンイノベーションを！

- 産総研TIAに新たな超電導の研究開発拠点を設置
- 超電導の社会実装に向けたオープンイノベーションを推進
- 超電導の新規ビジネスモデル構築と、次世代を担う人材の育成を目指す



二階建て構造の新型コンソーシアム

- 1Fのみの参加も可能
- 企業ニーズに合わせた研究開発プロジェクトを推進

2F 研究開発
イノベーションコンソーシアム型として共同研究体を構成。民活型のクローズ型研究、オープン研究を推進

1F 共通部分
種々の情報を共有するコンソーシアム。国内外動向調査、国際シンポジウムやセミナー等の開催、標準化推進等

メンバー



ASCOTは、超電導応用技術とビジネスモデルを開発します。

情報共有

国際超電導シンポジウム

2016.12.13~15、発表数321件
参加者数427名、参加国数15ヶ国



新技術研究会

毎月1回のペースで著名な講師との技術交流。



イノベーション推進

フィージビリティスタディ

あらたな研究テーマの F S。「航空機」、「限流器」、「新材料」等を検討。

課題解決

冷却システムの「安全性」、「高圧ガス保安法の見直し」、「標準化・規格化」に重点化して検討を実施中。

情報発信

Webジャーナル



人材育成



超電導スクール
2016.12.12及び16